

普一〇四〇
二月廿五日

閱覽濟

次官



軍乾第三七一號

軍務局長



敵僞甲第一、五四號

艦政局長代

長門丸

一月一日横濱護船 全月廿九日マネラ灣
滞在中迄、記事報告

軍令

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

海軍省

明治二十年一月一日午前十時五十分敵傍艦搜索
 索ノ為セリハス氏一同長門九乗組横濱港抜錨
 全十一時燈明船ヲ經過ス紀州汐御崎ニ向テ航
 行ス午後四時機関ニ故障アリ暫時運轉ヲ止全
 三十分運轉ヲ初ル全五時半神子本燈臺ニ並フ
 凡七時四十分御前寄燈臺ヲ右舷正横ニ見凡八
 里午後四時頃伊豆大島沖ニ於テ日本郵船會社
 山城丸ニ逢フ
 一月二日天候晴風向西午前九時紀州汐ノ御寄
 燈臺沖ニ至ル暫時運轉ヲ止メ澳舟ヲ雇ヒ燈臺
 ニ至リ二級燈塔方竹内君雄ニ付テ敵傍艦搜索
 ノ為巡航スルヲ示シ然レテ三橋ニレテ二煙

海軍省
 第一〇九一

筒之軍艦ハ十二月十三日已未汝御寄近傍ヲ経
過スルヤ尋ルニ十三日此方軍艦ハ通過セス
乍併夜中ハ吾不知又「バツケ」トライフブーイ等ノ
物品ハ燈臺近傍ノ海岸ニ漂着セシトナキヤ尋
ス無シ十二月中ハ天候模様ハ大概西風ニシテ
力疾凡ナリ過十五日風向西ヨリ南ニ変シ電降
レ荒天ノ模様ヲナセリ風力六ナリ午前八時大
島櫻野崎沖ニ於テ越中丸達其方向東北東ニ向
フ前九時四十五分帰船左五十分運轉ヲ初メ日
向位多ノ岬ニ向テ航行ス
一月三日午前天候晴風向北西疾風艦少シク動
搖ヲ覚テ午前八時日向大島嶺寄燈臺沖ヲ航行
ス午前九時半ゼーラス氏並船長ハ琉球諸港搜

索ノ協議ヲナス而シテ汽船出逢信号ヲ調テ尤
ノ如シ

日本

軍艦

汝ハ汽船ヲ見タマハルカ或ハ出逢テアルカ

汝船ヲ止メテ吾端ヲ送ル

汝要領事ノ外ハ船止難シ

難止ニ

航海中無事ヲ祈ル

汝到着シタラ我無事ト執行スルヲ報知セヨ

前十一時二十五分大隅島ノ岬ヲ經過ス其離一
里午後三時佐田ノ岬燈臺ノ沖ニ至リ以テナル信
号ヲ以テ燈臺ニ尋問スルニ燈臺ヨリ否ノ應答アリ

東洋

4093

リ倣テ舵ヲ轉シテ音泊島ニ向テ左三時四十分
 音泊嶼ニ投錨ス深サ九尋夜中種子ヶ島其他ノ
 諸島ヲ搜索難成依テ此處ニ暫泊ス音泊嶼ハ佐
 田岬ヲ北東ニ去ルニ里半ノ處ニ有リ岬門南東
 ニ向テ少ノ岬形ナレ北西或ハ西風ヲ防ク明治
 九ハ燈臺巡視際ハ此處ニ碇泊スト言フ
 一月四日曉天候半晴風向北西午前六時十四分
 音泊嶼出帆種子ヶ島ニ向テ午前八時種子ヶ島
 西表村沖至ル巡查ニ名簿舟ニ乗組未艦ス直ニ
 敵傍艦搜索之件ヲ示ス客年十二月十二日頃此
 方種子ヶ島近海ニ於テ三檣ニシテ二煙筒ノ汽
 船ハ通過セザルヤ又船具ノ流失物等ハ該島ノ
 海岸ニ漂着セシトナキヤヲ尋ニ汽船ハ通過セ

ス又船具ノ漂着セシトナシ客年十一月中旬荒
天アリ其際日本船一艘南西ノ海岸ニ漂着ス又
八月十四日荒天アリ鯉魚船七艘破損今ニ行衛
不詳ト言西教村ハ種子島北西ノ海岸ニアル歟
島中大村タリ警察支署アリ警部長若松長治戸
数三百戸人口千五百人西教村ハ該島北西ノ海
岸岸々岬ヲ北西ニ去ル八里処ニ少灣ヲナス灣
北方ノ鼻ヨリ岩礁露出シテ少シク北西ノ浪ヲ
防ク灣内ニ小馬頭ヲ築キ小舟ノ繫泊場トス灣
門ヨリ二里ノ處ニ於テ投錨シテ海尋ヲ試ムニ
深キ六尋底質砂北東ヨリ東風吹キ暫時破泊シ
テ可ナリ此處ニ碇泊スル船舶ヲ屋久島南岬ト
船工キ岬ト一直線ニ見西教村小橋ヲ南東見テ

投錨ベシ海尋十六尋ニテ底質砂泥ナリ
 前十時運轉ヲ初メ屋久島ニ向天候曇風向北西
 其力増加シテ船動搖ヲ覺ユ十一時頃種子ヶ島
 北西海岸ヲ九一里ヲ距テ航過ス十二時十二分
 種子ヶ島ノ北西ノ岬ニ至リ其距離一里此岬ヨ
 リ方向南南西ニ轉シテ中野島ニ向テ進行ス午
 后四時五十分中ノ島南東海岸ヲ航進ス其距離
 二里至五時諏訪島ノ南岸九二里ノ處ヲ航行ス
 ルニ兩島共ニ異情ナシ是ヨリ惡石島海岸ニ向
 テ前進ス至七時ヨリ機械ヲ除原書不明兩島ノ南
 方ヲ往返ス夜中諸島ヲ搜索スルテ不能之ヲナ
 リ且ツ大島名瀬港へ入港都合為メナリ正午北
 緯三十三度二十七分東經百三十度二十六分ニ

地位スニ日ヨリ櫻野寄沖ニ於テ汽船越中丸ニ
出逢而也ニテ其他一ノ汽船不見
一月五日天候雨午前二時十五分前進ヲ初方位
大島名瀬港ニ向フ前八時三十分名瀬港着船前
十時ゼーヤ氏一同上陸直ニ大島々廳ニ至リ
長代理官里正靜・對面敵傍艦搜索ノ為巡視ノ
件ヲ談ス幸ヒ大島諸村ノ戸長集會際ナリ依テ
諸戸長ヲ呼集ス敵傍艦ノ圖ヲ示シテ客年十二
月十二日頃已来大島近海ニ於テ圖ノ如キ船ノ
航過スル見タリナキヤ又船具ノ流失等ハ此島
ノ海岸ニ漂着セザルカヲ尋ルニ如何船舶ハ航
過スル不見又船具ノ漂着セシテ無ト言フ長代
理官里氏曰フ客年十二月廿四日魯國軍艦一艘

長崎港ヨリレンガポトル向航行際当港ニ入艦
牛肉等ヲ請求シテ出帆スト言フ今日已後島廳
管轄諸島へ破船等ノ物品海岸漂着セシテアラ
バ島廳ニ届可出告達ヲ依頼着シ漂着件アラハ
島廳ヨリ直ニ海軍者其旨通知乞置ケリ鹿兒島、
名瀬、那覇、宮古島へノ定規航海汽船当港投錨ノ
片ハ航海中破船ノ流失等ヲ觀望スル片ハ直ニ
指揚其旨ヲ東京海軍者届出様告達依頼置ケリ
南洋丸水夫長大重博之助那覇港迄水先、為メ雇
入レ午後三時名瀬港出港那覇港ニ向テ午後五
時燒内灣沖ヲ過リ
一月六日午前零時北西ノ風吹起リ左六時風力
増加シ船ノ動搖甚タレ午前九時十分伊江島ノ

北西ヲ通過スル際益風力増加シ加フルニ浪涛
 高ク那覇港へ入港スル不能故瀨底灣ニ向フ午
 前十時瀨底灣投錨ス風力静ナルヲ待ツ
 瀨底灣ハ琉球中部北西ノ海岸アリ瀨底島ト國
 頭方東岬ヲ以テ灣形ヲナシ灣門ハ南方ニ向フ
 海尋十一尋ヨリ五尋ニ至ル北方ヨリ北西ノ風
 ヲ禦キ冬季北或ハ北西ノ風烈キハ大島名瀨
 港又那覇港ニ碇泊ヨリモ安全ノ良灣ト言フベ
 シ碇泊所ハ伊瀨寄ト瀨底島北東岬ノ砂濱ト直
 線ニ見瀨底島南岬ヲ西北西ニ望テ投錨スベシ
 然ルキハ海尋八尋底質泥砂ナリ
 一月七日天候半晴風向北方ニ変シ風力減ス午
 后一時十分瀨底灣投錨那覇港ニ向フ左ニ時三

要
 要
 要

十五分ジノハ岬迄傍ヲ航行ス至三時五十分
沖繩縣那霸港ニ投錨セリハス氏一同上陸大迫
知事ニ面會欲傍艦搜索ノ為巡航事ヲ談ス知事
直ニ警部長ヲ呼ヒ警察本部ヨリ縣下海岸各村
へ巡查ヲ派出セシメ海岸ニ船具等ノ流失物漂
着ノ有無共三橋ニシテ二煙筒ノ汽船ノ客年十
二月十日已來近海ヲ航過セシメ有無ヲ搜索ノ
為派出^{セシメ}其各答ヲ待ツ

一月八日天候晴風向北輕風那霸港滞在八重山
宮古ヨリ往復ノ汽船大有丸談西島ヲ徑テ帰港
ノ筈ニ台先島ノ様子ヲ搜索ノ為ナリ

一月九日天候晴風向北東輕風那霸^港碇泊午後六
時派出ノ巡查急ク帰り報告ノ寫警部長送達了

リ報告書因テ見レハ東方海岸ハ三四十日已来
 右等ノ汽船ノ航過スルヲ見受タル者無之船具
 ノ漂着セシテ曾テ無シ西方ノ海岸ハ内地ヨリ
 本島へノ航海ノ汽船ハ遠々見受レ而巳具志頭海
 岸ニ於テ客年十二月三十一日檣等ハ不分明ナ
 レル汽船ニ相違ナキモノ東方ヨリ南方ニ向ケ
 通過シタル由且又十二月十二日頃（四時頃）文仁間切小
 渡村海岸ニ於テ汽船ヲ見タル由尤モ是船ハ檣三
 本ニテ煙筒一ヶ所ノ汽船ニテ東方ヨリ南方ニ
 向タリ其他ハ沖繩島海岸ニ於テハ異情ノ事無
 之ト報告ス
 一月十日天候半晴風向南微風那霸港滞在午後
 六時頃ヨリ風向南西ニ変ス

要
 旨

一月十一日 天候半晴 風向南本 日迄大有丸帰港
 九午前九時 沖繩縣廳ニ到出港ノ事ヲ告ケテ八
 重山石垣港迄水先ノ為島袋完衛十九者二十円
 ニテ雇ヒ正午那覇港出港慶良間久米島搜索シ
 テ八重山ニ向午後一時前慶良間島海岸ニ里距
 離ニ航行スル五十分慶良間海峡北口航行午後
 四時三十分久米島三里ノ處航行スルニ島上異
 変ナシ候テ航ヲ轉シテ石垣港ニ向テ午時北方
 ヲリ黒雲ヲ生シ雨降り風向北西ニ変ス
 一月十二日 午前四時 天候曇少雨降ル 風位南ニ
 変シ至輕 凡午前八時八重山島ニ見至九時三十
 分八重山島大崎沖ニ於テ円材ノ流ヲ見ル該円
 材ハ琉球船ノ櫓ナリ午前十時五十分八重山

島石垣港へ投錨ス海深十二尋半那霸港經過時
 間二十時三十分也一ハス氏一月上陸島廳ニ
 到リ長代理警部兼屬水間兼政ニ面會八重山全
 島海岸ニ於テ客年十二月己未三橋ニシテ二煙
 筒ノ汽船航過スルヲ見ル者アリヤ又破船ノ船
 具類海岸漂着セシヲナキヤ尋又天候ノ模様ヲ
 尋スルニ全島ニ海岸ニ於テハ船具ノ破損物ハ
 客年八月中旬頃西洋形帆前船石垣港ニ於テ破
 損シテ今現礁頭存在セリ十一月十七日荒天ア
 リ風向ハ東方ヨリ吹起リ北方ヲ經テ西方ニ廻
 リ風力減ス實際琉球船四艘破セリ本月六日伊
 原間海岸ニ於テ琉球船ノ檣一本漂着セリ其他
 ハ海岸ニ船具ノ漂着セシヲ無シ客年十二月ニ

夏夏

十八日魯國軍艦バストニック号大港翌廿九日
出港ス八重山廳ヨリ十三里南西ニ當リ波照間
島アリ此島近傍ヲ凡帆船壹艘航過セシメアリ
其他汽船ノ航過スルヲ見ス
水間兼政客年十二月廿日ヨリ廿七日迄一周間
宮古島警察署滞在ト言因テ宮古島海岸ヲ尋ス
ルニ客年十二月廿七日迄ハ宮古島海岸於テ船
具ノ漂着セシユト無し人口壹万三千七百六十
人飲水三井其他ハ鑿氣ヲ畜ム
八重島物産 年煙草五万斤 米三千石
午後四時十分八重山島石垣港按錨臺灣サヲ
一灣ニ向テ出帆セリ
一月十三日午前五時十分スナグ島沖ニ於テ

拂曉ヲ待ツ午前七時五十分臺灣島サリ灣ニ投
錨ス澳舟ヲ呼ヒ澳夫集メ澳夫スチーントンハ
イニ畝傍艦畫ヲ示シ十二月己未國ノ如クナル
汽船此灣近海ヲ航行スルヲ不見哉ヲ尋又海
岸ニ船具破損物等漂着セレテ或ハ溺死體又ハ
衣服類等漂着スルヲ無哉ヲ尋ルニ絶テ漂着セ
ズ依テ前八時四十分サリ灣ヲ抜錨鷓籠港ニ
向フ前十一時臺灣北西廿四ヤーン岬航行ス
其離ニ里此所潮流最モ甚シ其為メ常ニ波濤高
シ十一時四十分ベトン岬ヲ海里一里ノ處ヲ
航行ス十二時四十分鷓籠港入水先ヲ雇ヒ至四
十分投錨ス直ニゼーラス氏ト共ニ上陸税関ニ
到リ長代理英國人ニ面會シゼーラス氏ヲシテ

尋問ヲナス此近海海岸又ハ淡水近傍ニ於テ客
 年十二月己未汽船之破損セリナキヤ或ハ船具
 漂着セシナキヤヲ尋ルニ汽船破損又ハ船
 具漂着セシナキヤニ歸艦ス
 鷄籠港景况該港停泊ス船舶ハ支那運送艦ヲ
 ンリンセレ号艦小蒸氣船壹艘其他支那形數
 艘碇泊セリ港内ノ警備ハ客年ヨリ國名不分明
 工兵士官ヲ雇ヒ今砲臺二座ヲ建築ス一ツハ港内
 東方クラブボレイ山頂高サ二百七十二尺一ツハ
 港外ハラム島ニ建築現今工業中大砲ハ四十三
 頭砲四門其十五頭砲四門合計八門準備スト言
 フ一昨年清佛戦争後水雷マインヲ兵營ニ準備
 レテ港内警備ニ供トス其他ニ二砲臺港ノ内外

一建築スト言港内ハ即チ西方クラクヒキ山頂
港外ハ西方イマケ崎山頂ニ建築スト皆税関代
理英國人ノ談ニ十日巳前洞臺ヨリ一般兵士ニ
示スニ日清ハ近日戦争ヲ開ク假テ砲臺ノ建築
甚速成切望ト告示ス故ニ十日巳前ヨリ兵士砲
臺ノ工業ニ勉強ト言フ現今建築中ニ砲臺ハ今
ヨリ六ヶ月以テ其工事成切ノ見込積ナリ其他
舊砲臺ハ清佛戦争後破損ノ終ニ修繕ナシ
一月十四日天候曇風向北午前六時支那運送船
兵士八百名ヲ乗セ上海ヨリ南京ニ向テ出港セ
リ今八時鷓籠港抜錨廈門ニ向テ出帆ス午前九
時頃ヨリ霧ヲ生シ少シク荒天トナリ波濤高ク
船動揺ス今十時少雨止ム午前六時ヲクテ燈臺

ヲ右舷首ニ見ル今三十分燈臺ヲ北少西ニ分ク
一西ニ見其距離十二里該燈臺ハ回轉燈ニシテ晴
夜光達二十四里此所ヨリ半速カニナス
一月十五日天候半晴凡向北少東午前一時頃ニ
ヤベル島燈臺沖ヲ航行ス速力ヲ除ニナス午前
五分厦門港ノ中ニユウサン島燈臺沖ニ暫泊シ日
出ヲ待ク至六時三十分該所ヲ後錨厦門港内ニ
向フ至七時三十分厦門港ハ後錨深サ八尋
午前九時三十分ゼーマス氏一同上陸日本領事
並稅関ヲ問ヒ未タ敵傍艦模様ヲ不知ト言英國
領事ヲ問ヒ領事ニ面會シテ敵傍艦ノ件ヲ談ス
然ルニ領事二十年一月十二日ノ香港新聞ヲ以
テ示ニ香港ヨリ英艦ヲワントラー号ハルアイ

ニ号ニ艦敵傍艦搜索ノ為出港スト言又佛艦横濱ヨリ支那海へ向前同断ト言故ニ午前十一時電信局ニ到リ東京ニ敵傍艦未々様子不知ト報ス又香港領事ニ敵傍艦搜索為出港ノ英艦ヨリ報知アリヤヲ尋午后一時帰艦ス午后二時香港領事ヨリ電報ヲ以テ未々報知ナレト答フ

厦門港ニ碇泊ノ各國軍艦ハ魯國クヲテモノマ
一ノ号支那艦ニ艘其他汽船六七艘碇泊ス
一月十六日天候半晴風向北東厦門港ニ碇泊明
治九ヲ待ツ午前十一時海軍省ヨリ支那地方ニ
於テ水夫之上陸ヲ禁ト命令電信ヲ以テ達ス直
ニ艦長ヨシク一氏事務長東郷直寛ニ電報意ヲ
達ス午后三時海軍省ヨリ明治九神戸港ニ入小

笠原島近海ニ於テハ異情ナシ全十一日明治丸
神戸出帆ヒスカートルニ向ト電報アリ

一月十七日天候曇風向北東ノ微風廈門港碇泊

一月十八日天候半晴風任北東ノ微風午前七時

三十分明治丸入港セームス氏一同明治丸ヲ問

英艦二艘搜索ノ為メ香港ヨリ出帆ノヲ告メ明

治長門西艦ノ搜索航路ヲ談シ午前十時遠藤大

尉セームス氏一同電信局ヘ至リ東京並香港電

報ヲ以テ出帆ノヲ通シ正午長門丸廈門港出

船明治ハ十九日午前出港約ヲナス

一月十九日天候曇霧ヲ生シ海面靜午前十一時

二十分香港ニ投錨直ニセームス氏一同領事館

ニ到リ領事南氏ニ面會シ領事一同知事ヲ問ヒ

面會敵傍艦搜索ノ為メ入港ノトヲ告ク直ニ英
 艦ヲリテレヨウスヲ尋問ニ提督ハシルトン氏
 ニ面會前件ノト告ケテ各艦搜索ノ為香港出港
 ノ事尋ル處チヤンヒヨレ号ハ「ハラセルレヨル」
 ヲ搜索シテ「レンガポール」ニ到レイスボイ号
 ハバタトス島並リ「ゴラ」搜索ノ為出港ス「ウアン
 タラ」号ヘ「リライン」号ノ二艘ハ「ハラウア」レ、バ
 セ「ジョ」ノ諸礁並諸島ヲ搜索シテ「レンガポール」
 ニ到ルノ余令書ヲ以テ既ニ出港セリト言フ午
 后チヤンヒヨン号「レンガポール」ニ着ノ電報ア
 リ「ハラセル」近傍ヲ搜索スルニ敵傍艦ノ件ニ付
 キ異情ナシ只英國汽船ノ破損セシ人名ヲ乗組
 シテ「レンガポール」ニ到着タリト報ス

東軍省

一月二十日天候曇午前十時明治丸入港五時佛
國軍艦ヨリモゲー号入港直ニ尋問シテ敵傍艦
ノ事ヲ尋ルニ該艦ニ於テ未タ不知午前十一時
頃エム、エムアサント會社ニ敵傍艦ハ「シンガポ
ール」ニ於テ石炭幾頓積込シヤ電報ヲ以テ尋又午
后三時會社ヨリ電答アリ客年十二月三日午前
九時出帆石炭三百頓ヲ積本日石炭四百頓ヲ積
ム
一月二十一日天候半晴午后二時「アスボ」号歸
港報告スルニバラタス島ニ暫泊シテ上陸ニ支
那人九名漁業ノ為此島ニ滞在ト言談支那人ニ
依キ問ニ此島並バラタス島ニ客年十二月巴未汽
船ノ破損スルヲ有無並溺死人船具等ノ漂着セ

レ一有無ヲ尋ルニ客年十二月巴来ハ此近海ニ
於釁船破損並船具ノ漂着セシ一曾テ無ト言報
告ス明治九ニセームス氏一同會シ兩船ノ搜索
ノ航路ヲ協議ス兩船共マ子ラヨリバラアン海
峽ノ英艦ノ搜索不能處ヲ諸島ヲ搜索モテ兩艦
十二時間ノ間隔ヲ以テ速カニ定メテレシガホ
ールニ入港ノ一ニ協議ナス
一月二十二日天候曇風向北東午後二時半明治
丸出港マ子ラニ向テ午後四時長門丸出港ブラ
クス礁ニ向テ出帆午後二時頃英艦ウレトラ一
号ヘーリラン号兩艦レシガボール港ニ着ス報
スルニパラウアン海峡ノ諸礁並諸島ヲ搜索ス
ルニ敵傍艦ノ件ニ付ハ何モ異状ナシ又十二月

三日已来ニ汽船ノ破損セシテ無シ又船具ノ流
失セシ者曾テ無シ報告ス

一月廿三日天候薄霧ヲ生ス凡北東雄風午前七
時明治丸ヲ左舷ヒームニ見ル午前八時四十分
バストス島ヲ左舷首ニ見ル午前九時十五分バ
タトス島一海里ニ望ミ搜索スルニ支那船壹艘
碇泊スル而已午前十時明治丸へ書翰ヲ送り報ス
ルニ長門丸ハロソン北岬ボセートル岬北緯十
八度三十分東経百二十度三十分ニ位近海英バタ
ン島等ヲ搜索シテ四昼夜経テ「マ子ラ」ニ着ノ
報ス明治丸ハロソン、リンガエル海湾ヲ搜索シ
テ「マ子ラ」到着ト返翰アリ午前十時五十分ロソ
ン島北岬ニ向ケ航行ス香港ヨリパラトス島迄

傍近ハ海流ナシ午後天候快晴風力減シ海面甚
 タ静依テ午後一時ヨリバタン島ニ向テ航進ス
 一月廿四日天候晴零時ヨリ風向東少南ニ変風
 カ増シ雄風トナル正午北緯二十三度二十三分
 東経百二十度四十八分ニ位ス午後三時バタン
 島ヲ右舷首ニ望ム全六時十五分バタン島サン
 ドミンコー沖ニ到ル然ルニ日没後暗黒トナル
 上陸スル不能依テ機関ノ運轉ヲ止ム曉天ヲ待
 ツ
 一月二十五日天候晴風向南東輕風午前七時三
 十分バタン島サンドミンコーヨリ尋問ノ為官
 吏三名乗艦日本敵傍艦搜索ノ為巡航スル下通
 ス土人壹名ヲ水先トシテサンドミンコー湾内

到リ前八時投錨五時三十分官吏ゼーラス氏一同上陸島廳ニ到リ知事原書脱字ニ面會シ日本

軍艦畝傍艦搜索ノ為メ此度長門丸ヲ以テ此迄

海ヲ巡航スル意ヲ通ス畫圖ヲ示シ此群島近海

ニ於テ圖ノ如キ汽船十二月十日已來航過セシ

ト見ル者アリヤ破船ノ船具類ノ海岸ニ漂着セ

シトナキヤヲ尋ルニ客年十二月中日限不明

イバタ島ニ瓶一個漂着ニ瓶中ヲ閲スルニ紙札

一葉顯出シテ該島廳ニ送タト言フ我等一覽ヲ

乞テ見ルニ表面ニハ地名書ニ裏面ニハ鉛筆ヲ

以テ横文記載アリ然レモ消滅シテ書体不明

該札乞テ待帰レリ且ツ十二月十一日頃全島ニ

於テ汽船ノ通過スル見タルコトアリト言フ汽

船方向ハ尋ルニ言語甚不充分南西ヨリ北東ニ
 航過ト想像セリ知事書翰イバタヤ島官吏宛將
 校一名其他三名ヲ長門丸乗セ正午サンドミンコ
 一拔錨イバタヤ島ニ向テ航進ス午後二時二十
 分イバタヤ島北岸上陸場沖ニ到リ運轉ヲ止メ
 二名ノイスパニヤ人ニ知事書翰ヲ持セ脚送ス
 此島全岸岩石絶壁シテ且ツ潮流早クシテ碇泊
 スル處ナシ端艇ヲ送り波濤間暇上陸ス午後五
 時二十五分使^{原居}未^全時バタン島ニ向テ航進ス午
 后八時三十分サンドミンコー湾へ投錨ス直ニ
 セーハス氏一同上陸イバタヤ島ヨリ返翰ノ意
 味ヲ尋問スルニイバタヤ島ヨリ汽船ヲ見タル
 下アレヒ十二月十日カ或ハ十五日カ時日判然

セス言語不充分ニテ推察スルヲ多シ
 ハタン島ハバイトアン海峡之北部ニシテハダン
 島サアバタン、イブスク、イバヤタ等ノ諸島ヲ以
 テ一群島ヲナス名称シテバタン群島ト言悉皆
 イスパニヤノ領地バタン島北西部ニサンドミ
 ンコート称スル村落アリ北緯二十度二十分東
 經百二十一度五十八分位ス該村ニ知事ヲ置キ
 諸島総轄スサンドミンコト南西部ニサンカル
 ロス、サンビンテト、サンレヨウセト等ノ村落ア
 リ人口三千人各村ニ一寺院建テ人民一般羅馬
 宗ヲ導教ス牧牛、野羊、鶏、豚ニ富メリ
 サンドミンコト村落前面ニ湾形アリ此處ヲ以
 テ上陸場トス此湾ハ北東信風トキ天候晴朗海

面静ナルトキ海岸ニ五鍵ヲ距テ海深ニ十五尋
處アリ底質砂暫時碇泊スルモ可ナリ此灣ニ入
港スルトキハバタン島北部ニ高山アリイラタ
山ト言高サ三千八百。六尺天候晴良トキ三十
里處ニ望得ル故ニ該島目的シテ島ニ近クベシ
而シテサンドミンコー灣内ニ入ルニ隨ヒサン
ドミンコー村ノ寺院ヲ見ニ灣ノ北角トシヨウ
マ一島重覆ノ處海岸ヲ去ルニニ鍵ニテ海深十
五尋底質砂此灣ノ好錨地ト言
ハタン島ハ一月一回或三ヶ月ニ一回「マ子」ヨ
リ卸便汽船往復ス然レモ七八九十ノ四ヶ月
間ハ此近海荒天多シテ汽船航通ヲ絶ト言ヘリ
大風ハ毎年二回或三回ヲ常ト雖年一回ノ大風

ナキナアリ

一月二十六日天候曇風向北東疾風屢々而降午
前八時知事乗船彼報スル昨夜サブタン島ヨリ
報スルニ十二月十日或ハ十五日カ日限不明談
島ヨリ大ナル汽船ノ南西ヨリ北東ニ航行スト
見タル者アリト言然ルニ言語甚々不通故ニ知
事汽船ノ航行シタル次第ヲ記載シテ我等ニ與
フ九時知事退船ス左四十分サインドミンコー湾
抜錨マネラ湾ニ向テ航行ス正午北緯二十度十
一分東経百二十一度三十八分サバタル島南角
ヨリ十四里ニ位ス晴雨針三〇、一六寒暖計七十
六度午後四時カラマン島ヲ左舷正横十七里ニ
望ム午後十一時ボセートル岬航過ス方向ヲ南

々西ニ変ス
 一月二十七日午前大候半晴午前二時頃ロソン島
 西岸ヲ航行ス凡向東ヲ経テ漸々正南ニ変シテ
 八時至テ輕風ナリ午後二時ロソン島北西角ホ
 リニテ沖凡海岸ヲ去ルテ二海里地ニ於テ運轉
 ヲ止メ端艇ヲ卸ロシゼーリス氏一同上陸此地
 ハ海底電底電信ノ接統局アリ直局ニ到リ局吏
 英人ベルボルト、レヨリン氏ニ面會欲傍艦搜索
 ノ為メ巡航ノ意ヲ通彼等電報ヲ以テ局ヲ去ル
 十二里西部ヒートロ角ナル信号所ニ日本汽船
 十二月中北近海ヲ航行スルヲ無ヤ尋ルニ十二
 月中ハ日本軍艦ハ航過セスト岩ヲ午後四時運
 轉ヲ初メマネラニ向テ午後五時ヒラトロ角迄

海軍省

航其距齋二里ニ望テ航行ス此地ヨリマネラ湾
 迄百八十五里ナリ
 洞リニゴロソシ島ノ北西部リンガエシ海灣
 ノ西部ニシテ海底電信ノ接統局アリ局ハ北緯
 十六度二十四分十秒東經百十九度五十四分五
 十五秒ノ地位ニアリサンチヤゴ一島ト海峽ヲ
 ナシ北西ヨリ南東リンカエシ灣ニ通ス海峽幅
 五鍵ヨリ二鍵半ニ至ル長廿三里海峽中央ノ深
 廿八尋ヨリ十尋ニ至ル底質泥土サンチヤゴ一
 島ヨリ北西ニ向テ九二里ノ間ハ暗礁坐列シテ
 常ニ浪濤ヲ起セリ又ボリニラ海岸ヲ北二分ノ
 一西五鍵地砂堆ナリ千潮ノトキ深サ二尋長サ
 半鍵其周圍ハ總テ五尋ナリ此海峽ハスクホル

形船ノ航行スルノ止マル海峡外ニ暫泊スル
者ハサンチヤコ島ニ突出スル暗礁トナリテ津波ノ沙堆ヲ宜シク敷設シ碇泊
 ベシヤンチヤコ島ハ洋中ヨリ望ムトキハボリ
 ニテ海岸一面望得シテ區別難故セラキスイ
 島ト白色ニ塗抹シタル電信局ヲ目的シテ漸々
 島ニ近ヅクニ随テ海峡門ヲ開ク而シテ的當ノ
 錨場ヲ撰テ投錨スベシ
 一月二十八日天候晴風向東北東輕風午前七時
 サンハロウ岬ヲ航行ス左八時三十三分コンジド
 ル燈臺右舷ヒーム見テ航過シテマネラ灣ニ入ル午前
 十一時二十八分マネラ港ニ投錨ス明治丸魯國
 グラデモノマーク号ベストニツク号碇泊セリ
 十二時三十分カヒタン、テボルトヨリ官吏二名
 来艦入港ノヲ尋又當艦ハ敵傍艦搜索ノ為巡航

海軍省
 文書

ノ一通ス我等ヨリ官吏依頼スルニピラトロ角
 信号所ニ十二月八九日兩日中ニ三橋ノ汽船ノ
 航過スルニ或ハ信号所ニ於テ望得スル處ニ於
 テ汽船ノ煙ヲ望ミ得ルノ有無再々電報ヲ以
 テ依頼ス午後三時信号所ヨリ十二月八九ノ兩
 日ニ於テ三橋ノ汽船通過セス汽船ノ煙等ハ其
 兩日中望不得ト答アリ
 午後二時遠藤大尉今泉少尉乗船廿七日香港英
 提督ヨリ当地英領事ニ電報アリ写ヲ持考ス其
 文ニ曰クウントラ一号ヘリラン号ノ兩艦過廿
 二日ニシテガボールニ着艦報スルニスヤーボ
 ルニヨールバウバンバウボニベーシヨルフ
 ヤーカビテンシヨールハーフラウンシヨール

ルセイガリー島ロロルチヤル、ロートリローロ
イス、リীগブスヒ島ロ島セライヤ島ノ等ノ
諸處ヲ悉皆搜索セシニ畝傍艦ノ行方並船具流
物等ハ一ツモ無シ且又バラウアン海峡ニ於テ
破船ハ十二月巳未ハ曾テ無シト報ス
長門丸ハバレイイ海峡ノ諸島ヲ搜索シロソ
島南西ノ海岸ビロクタル角等ヲ搜索シマネラ
灣ニ入リ明治丸ハカスカボール、シロールヲ搜
索シテ入リ兩艦ノヲ以テ搜索場所ハ既ニ英艦
ノ搜索スル處ナリ依兩艦ノ搜索タリ畝傍艦
ハ支那海ニ於テ沈没セシカ又ハ太平洋中ニ漂
流スルカノニナリ依テ速藤大尉ゼーハス氏一
同取議シテ支那海ヲ搜索スルトモ無益ト議決

東洋

レ午後五時其意ヲ以テ海軍省へ電報レテ其令待テリ

一月廿九日天候晴風北微風午前九時半ゼームス氏一同上陸カピテン、デボルトニ至リロソシ島西海岸ニ於テ十二月已来汽船ノ破損セシ船具類ノ漂着セシヤ尋ルニ未タロソシ島近海ニ於テ汽船ノ破損セルヲ不聞流物等ハ嘗テ無シ乍併四ヶ月已前英國汽船バラバク島ノ暗礁ニ觸テ沈没ス其他ハ無シカピテン、デボルトハ天候ノ報告並ロソシ島近海ニ於テ破船ノ有無報告スル所ナリ

午後六時海軍省ヨリ電報ヲ以テ明治丸歸國長門丸ハ目的通ハラウアン通過ト諸島ヲ搜索シ

テシソガポ一此迄到着セヨノ余令アリ

明治廿年二月廿五日

海軍大尉高秋春祺

原五省

1127



海軍省

1128